

三井住友信託銀行 社長メッセージ



三井住友信託銀行
取締役社長

橋本 勝

お客様の「ベストパートナー」として、新たな付加価値を創造

我が国では、高齢化社会の到来、デジタル技術の進化などにより社会構造が大きく変化しています。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響がグローバルに拡大し、その長期化が懸念されるなか、働き方や暮らし方などさまざまな様式を変えていく必要があります。

このような環境のもと、三井住友トラスト・グループは、2020～2022年度の3年間を対象期間とする中期経営計画をスタートさせました。この中期経営計画では、我が国の社会構造の変化を積極的に捉え、新たな社会課題に正面から向き合い、当グループならではの機能や強みを生かして解決していくことを目指しています。

三井住友信託銀行としては、当グループの中核企業として、当グループの持続的かつ安定的な成長の実現とサステナブルな社会の発展に資する取り組みを進めていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が懸念されるなか、お客様の資金調達のニーズに適切に対応し、しっかりとサポートしていくことはもちろんのこと、お客さまとの長期的かつ包括的な信頼関係をベースに、新たな商品・サービスやソリューションをご提供していきます。

個人・法人を問わず、資産運用および資産管理など当社が強みを有する既存領域を中心に新たなお客さまとの取引を推進し、ビジネス基盤の拡大に取り組むとともに、当社が有する機能やサービスを組み合わせ、新たな成長領域の確立に取り組んでいきます。

当社は、今年度、既存の7事業に加え、新たに、富裕層のお客さまに対して、銀行業務、信託業務、不動産業務やグループ関係会社の機能を融合したソリューションをご提供する「プライベートバンキング事業」、企業にお勤めの個人のお客さまに対してライフステージごとのサービスをご提供する「資産形成層（職域）事業」の二つの横断事業を設置しました。そのほか、成長の初期段階にある企業に対して成長段階に応じた各種機能をご提供する「イノベーション企業取引推進」領域、各事業の資産運用提案に関するノウハウを統合し、個人・法人のお客さまに対して高品質のご提案を図る「資産運用ソリューション」領域の二つの融合領域を設置しました。

これら横断事業や融合領域に専門性の高い人材を配置し、既存事業とも融合した当社ならではの機能を生かし、お客さまの多様かつ高度なニーズに対し、真に必要なソリューションをご提供していきます。

先行きが見通しにくい今こそ、我が国唯一の専門信託銀行グループとして、多彩な専門性と総合力を発揮すべき時であり、最も信頼されるお客さまの「ベストパートナー」として、新たな付加価値を創造し、明るい未来に向け、ともに成長し続けたいと思います。

2020年7月

三井住友信託銀行
取締役社長

橋 本 勝

